

日本小児腎臓病学会の会員の皆様

腎臓専門医取得に関しまして

1. 専門医機構(以下、機構)は、腎臓専門医は基本領域の診療科を問わず同一カリキュラム、同一経験症例・数を基本原則としています。
2. したがって、基本領域が小児科医や泌尿器科医にとっては、上記1を内科医と同じ条件で満たすことが甚だ困難です。
3. そこで、当分の間(期間未定)、小児科医と泌尿器科医は、ほぼ旧来通りの以下の条件で腎臓専門医試験の受験資格が得られるよう検討を進めています。
ただし、試験に合格しても、機構認定腎臓専門医ではなく、学会認定腎臓専門医(仮称)となります。

1) 小児科医の受験資格(年度でカウント)

日本腎臓学会腎臓専門医制度規定では、小児科医の腎臓専門医受験資格は「日本腎臓学会の会員歴3年以上」「小児科専門医取得後1年以上」とされていますが、これらは年度でカウントします。たとえば、2021年9月の小児科専門医試験に合格された方は、同年10月から小児科専門医と認定されます。かつ、日本腎臓(日腎)学会に2020年3月末までに入会していれば、2022年1月下旬か2月上旬にある腎臓専門医試験を受験することができます。

以下の表は小児科専門医取得年月からみた、受験可能な条件の表です。ご参照ください。

小児科専門医取得年月	日腎学会入会日	腎臓専門医試験受験日
2021年10月に取得	2020年3月末までに入会	2022年1月/2月に受験可能
2022年10月に取得	2021年3月末までに入会	2023年1月/2月に受験可能
2023年10月に取得	2022年3月末までに入会	2024年1月/2月に受験可能

- 2) 腎臓専門医試験は、小児科医選択問題や泌尿器科医用選択問題はなくなり、受験生は科を問わず共通問題となります。
- 3) 経験症例20例をまとめて提出します。

4. 詳細につきましては、後日、日本腎臓学会の教育・専門医制度委員会から日本腎臓学会 HP に掲載される予定です。その際に、改めてアナウンスを行います。

2022 年 5 月 1 日

日本小児腎臓病学会 専門医制度委員会

(日本腎臓学会 教育・専門医制度委員会)

藤枝幹也